語林類葉

二

ホ2
398
2

水 2
巻

静嘉堂文庫

ウタサマ
ウタカリ
ウタノドク
ウタヒトツ
ウタフタツ
ウタノ得意
ウタカタリ
ウタナカメ
哥泉

語林類葉卷之三

清水濱臣輯

うの部

二言

うゝ集

落書露顕序　冷泉黄門為尹卿の家説の○同音を
用文の家説に真子息の家説あり師の家の風にな
ぞらへ不用○為尹卿は為相の家説をもつぱらと
○同流家のかなゝい○さゝの葉さら　連家をいつて無二の家の毒
として一向にとゝのへ昔にいまゝ人をとゝ

○栄花物語巻第十二 [illegible]

[illegible]○土佐日記

○後拾遺 世中さわがしさ [illegible]

花[illegible]○小侍従集 [illegible]

○源 柏木 花[illegible]

[illegible]

夫木十三 信実

[illegible]

○同世一 宗同 ○万十七 山柿 謌泉 比此如 茂ム下

ニ彫龍筆海ニ對ヘタリ哥泉ハ涌テ尽ルヿナ

キニタトフ○

うち家

隆信集 哀傷 [illegible]

[illegible]○

うで 腕

四季談 四月 うでもとれ [illegible]

うて 罰ノアタルヿ

宇治拾遺 二十七 [illegible]

○平家物語

○大和物語　野大弐

保憲女集

盛衰記廿三我身ノ起請ニウテヽ世ニ有マシキユヱ也○同世四磨墨モ勝ル生唼ニ逢タレハ無下ニウテヽ又見ヱタリケル

六帖一集　伊勢集

○

うば　祖母

乳母ウハ

隆信集

○同上

○墨本堤中納言物語

○著聞五

右大將　コレハ乳母ノ父　祖母トハ

時改ラ

うば　初

伊勢物語

夫木一度　仲正

冠
タチ
くし
さと
琴
字

○夫木 [illegible] 川歌○狩衣一 上十六 [illegible]

[illegible]○栄花 [illegible] 二月に [illegible] の後 [illegible]

殿 [illegible] [illegible] ○源 [illegible] 木

夫木廿六 旅 信実

[illegible]

○金葉 上源仲正の娘皇后宮に始て [illegible]

に [illegible] 美濃

[illegible] 秋 [illegible] 松風 [illegible] の名 [illegible]

○源 初子 [illegible] ○

うら

アウラ
ウラマサ
道ユキウラ
ウラナヘハ
ウラヘ
ウラトヘハ
ハセウラ
クチウラ
イレウラ
アレウラ

万四五十足ウラト○万十一十三ウ [illegible] ○拾遺三同

○万十一十三ウ道ゆきうら [illegible] ○万十一十三ウ [illegible] ○万

十一廿三ウ [illegible] ○万十四セウ [illegible]

○万十六十三ウ [illegible] ○万十六十三ウ [illegible] ○縣居

雑録万葉に石ト問 [illegible] 景行記宰石ト横主

[illegible]

拾玉集一廿一

[illegible]

林葉五

[illegible]

○榊葉日記 [illegible]

夫木廿六 行家

[illegible]

続古詞 定家

[illegible] 丹後十リ

○久老ニ足トハ足ニテ幾足トカワヘ歩行テ

真数ニヨリテ吉凶ヲ定ムル也 今云タヽミ 筭ノ如シ

雅経集

三言

うきゝ査

新古雑中 実方

[illegible]の川[illegible]

於遠雑上 [illegible]

[illegible]

文木 仙云 兼安二年廣田社三首 [illegible] 眺望 源仲綱

[illegible]

此哥判者俊成卿云蜀郡霊槎張騫ゝ天漢に昇

[illegible]

うきゝ 浮巣

中務内侍日記 中務の松のえに[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うきつ　浮津　万○浮津ハ天上の事々に浮津とうけ　天浮橋の例之

万八　天の川浮津の浪音さやけ　堀後百　七夕後朝

新勅撰秋上　敦仲　天の川うきつの浪は袁かりしの　つもしかりとやいくしし

○

うくい　魚名

宣長云川魚にうくひと云有今ハ一ツの魚名なれとも

ときハ椙のうくひ魚をいへり　神祇伯顕仲卿

ゐにかりゆの之にまうふ五藏よりうくひのいきをかくれ

さうくり椙川の歌之是ハ椙のうくひ魚ときこえたり○

うくる　令浮

栄花　衣の玉　まつふ　のもりハふるてつきあ　枕そくるとのの

○

うさて

新六　秋月　信実　わたるやの柳のつきのあけ月の影

後撰　立ハ　なかてちるとてしらてハ

てはらそ○

う多志

栄花 うやく後で 六才 弘高 うらと志、きゐ多さしに的

氏のまえ、うしきれる ○紫集 うら志に和るのさほで

くうしきてちりつしうるけさのさとにきてちり〳〵

やふ

男のうみに志りやくあるのうへ、やとふ、うまきやつも

○後撰離別 ちの国へ侍りける人に扇てしてかき侍

にうしを侍る

於遠雑笑

○栄花 根合 分侍るてさうのさ侍りけ多ちうさを

侍りて ○同 同 池のうち侍りきめるのいきさうを

侍るとこ和侍るよいとまかしくきさうて ○大鏡

○散木 ○続千雑中 家に海士の侍や

く所にちりつしうるかのりとてうきて人のさとにつて

しりうる紫式部

ほまの海士の侍やくあるけうへやくとふうなりきゐりも

○入楚 云分侍ハやとい〳〵矣侍きぬとう色い荷ち侍る

うく〳〵

うちそ

狩衣一上十五 うちそ せさせてあるべし ○袈裟衣除

中納言うちそ ○小馬余帰集 うちそたゆふ

引ちん

於玉異本 文治五年七月寂蓮入道のうたあはせ

入月にくもりなくさえ渡り 袖風ふきうちそふる

今宵の月うちそる波の声 月のうちそを

ウチハハ お驚 ニテバノカナルベシ

ソレヲワニイヒヨセシハ アヤマリナリ ○

うちも 俗言 うちきもいつ

後京極 舊三百首

うちもかりんけゆゑ 氷のうちそふる

うつば

源 玉ウ 袖くちいるまでうつばをとりて

多ち 紀貫 ○ちのきぬの ○東

新秋 うちきそうて下に何しうそ紅をぬいくること

鑑十九五 空衣小ユニタマハル 録十リ 日義ナルベシ

○

うつむき 移

万ハ あきふにうつむの葉のうつれい ゆうてを

つ保 後京 あきつのうつむのきれ やとりよい コレハユヅルヨウツル

トイヘリ

万十四 あ万のそらつの[illegible]

○

うぶ免 産女

今昔廿七 四十三条 頼光郎等平季武値産女語○

うぶや 図ニイヘリ

後拾遺雑五 前伊勢守 義孝 [illegible] 太政大臣のうぶや

にくらうたるときよめる [illegible] 天台座主教円

いまこの [illegible]

[illegible]

○

うゑ免 植女

[illegible] 保憲女集 [illegible]

[illegible] ○拾玉二 廿六 ○同二 廿五 ○

うらそ

[illegible]

万十四

後撰春 [illegible]

○源氏薄のうへ

千載雑中 右兵衛督公行

[illegible]

末葉を忘草と

[illegible]

新勅 竹 菅原

[illegible]

○

[illegible]葉 末葉

松遠負外上

[illegible]

○

四言

うけのゝ

万代並二 建保四年御百首 後鳥羽院

[illegible]

同並五 民部卿典侍

[illegible]

林葉三 湖辺月

○巌嶋詣記 十一ウ

うしほと 筑紫地名

都つゝ　六日清涼殿にて　たんそう　清井のにはにさくらぬ
清涼殿　清井　山吹　もゝきかう　しをれ花
の清水　水鳥のとき　牛の清舟　くれの　さん
ゐと　仁吉の清神のとり　あやめ　しうぶ　この牛
ゐ　ゐ　ゐ　清　ゐ　ゐ　ゐ

同

○源須[illegible]

源朝顔

字鏡

○竹取

○註可考

○中勢内侍日記中宮[illegible]

○年内侍日記下 無い行幸のとにうるふくやく

○増鏡 うちの雪

コレハ哥ヲ詠スルヲイフ

哥塚○人丸塚之○長明無名抄上ニ見ル○都図會

哥塚条可考

続古表傳 人丸[illegible]

[illegible]

[illegible]

廿四日癸巳行幸朱雀院有競馬騎射左右近衛
射者各十八人著お懸帯カ四人著小松摺衫○
讃岐日記あるい海のうちみ○厳嶋詣記袖口は
そくもそて記つきうちけとふこの歌○

うちしき

源繪　うちしきい青地のもかのうしき○

うちうち相撲の〜〜〜

[illegible]

釋向阿 西要抄下 [illegible]

もけるとい

新古雜下 慈円 [illegible]

玉葉亟四 西行 [illegible]

新六 信実 [illegible]

新勅亟一 定家 [illegible]

拾遺亟草上 [illegible]

○

うつぼき

後撰雜三 [illegible]

拾遺雜上 人丸 [illegible]

○万九二八 [illegible] 結句は川門かもとあり

○

うれ多まも 頭低ノ意 ○低ハクル紀

拾遺雜欠 賜皇后宮 [illegible]

○

○

うたてのき 表書

隆信集 亥六 文のいらさにこまてゆ明もそに

○伊勢物語 うちきに[illegible]○雲井

うちき 懐集 ○今昔廿八 上書ニハ東房ノ御

房ニ大法師義清カ上ト昏テ○

うちかき 裏書

十六夜日記の[illegible]

[illegible]○大鏡裏書○東鑑廿九 但見古陰書康

秀者元愛三年任縫殿助欲○

[illegible] 万葉にうちかけてあるを得まうと

十二中十二

[illegible]

○領巾[illegible]

新六 [illegible] 信実

○

うちたく 愁○情

伊勢物語

[illegible]

○枕冊子一廿六

后宮の清少[illegible]

春枕 [illegible]

○懐集 近江の[illegible]

うちをく

うちうちきの袴

うて着ること

[illegible]

[illegible]

○宇治拾遺一廿[illegible]又云[illegible]

[illegible]

駿河三条　ウルセキ奴ヲカシ○

[illegible]

後撰恋三　伊勢

[illegible]

万代雑二　資実

秋の田のほのかにふるさとやあてなきこゑにつのるなるらん

○

五言

[illegible]　浮〻

[illegible]

[illegible]○

[illegible]　狂鶏　遊仙窟

万代恋三　入道前摂政太大臣

なるとも[illegible]

○

ウケハレケ
ウケヒカラシ
ウケヒナフシ
神ウクル

うけひ

神功紀祈狩 此云于気比餓利 縣居雜録是神にいのりて
その幸をもとめ給ふ 古事記うけひ
うけひ中ふ〜 [illegible]
酒 紀葉ガ [illegible]
を 河児咀の ○ ウクルノウク ウケヒノ
千神 永能 ウケト同語 [illegible]
神うけ豊明 [illegible]

○

ウタ、アルサマ
ウタ、アルモノ

うたがき
古今訓諧 [illegible]
後拾秋上 能因 [illegible]
林葉集 [illegible]
百代雜二 後恵法師 [illegible]
林葉三

同 [illegible]
同五 [illegible]
同 [illegible]

詠曲
今様
朗詠

○

[illegible]

菊花 月宴 廿三 [illegible]

[illegible]

[illegible]の摩訶の[illegible]

[illegible]○狭衣三 下廿五 夢の[illegible]風に月の[illegible]

[illegible]○同 上廿一オ [illegible]

○同一 下四

十二 [illegible]舟哥 ○続世継 [illegible]

秋迎の[illegible] 上二今様トイヘリ ○

同 [illegible]の日 五節の[illegible]を[illegible]の今様[illegible]

[illegible]○宝物集 詠曲あり 十二山寺[illegible]

菊花[illegible]

[illegible]

宇陀法師

江次第二孟旬秋云此日有御遊者出居召琴ノ云

書司御手喚新儀式云謂宇陀法師也○

[illegible]く 祈

後拾遺　恵慶法師

夫木七　行家

○

高野日記

○

馬

保、後京兒、後河

新千雜下　大納言朝光

夫木廿二

同廿六同　○

源　頼方

夫木

同　○

閑胎　紀

○

[illegible] 愁緒
拾玉三 [illegible]

○

六言

[illegible] 病
小峰口号 [illegible]

[illegible]

三つの車

法華譬喩品

拾遺哀傷 [illegible]
[illegible]
月詣釈教 [illegible]
[illegible]
同 春宮法師
[illegible]
同 童保母
[illegible]
続千載釈教 近衛院
[illegible]
小家集下
[illegible]

○

[illegible]

古今十七 十七 六角堂ノ後合セニ ソ住シ ○

[illegible]

後撰恋三

[illegible]

於遠春

[illegible]

林葉六　緑竹為友　哥林苑

[illegible]

○夫木廿二　分林苑　後恵法師　分苑抄　[illegible]

法橋顕昭

[illegible]

返し　後恵法師

[illegible]

○

[illegible]

紫家集　故少將の君の、つきぬるうちとけふこの○

[illegible]

卯月の二十ゟ

うつきのいみ

拾玉四十七

年をへてゝ卯月のいまをさしてもちてはなを

新六　神垣つ　伝実

[illegible]

続後撰　行家

[illegible]に卯月のつ[illegible]

金葉春　後朽

[illegible]

散木春　殿下[illegible]三月晦日の[illegible]

六百番[illegible]合　[illegible]

[illegible]神の[illegible]卯月のつ[illegible]

新勅撰一　後成

[illegible]卯月のいつ[illegible]

○

[illegible]　傳言

源　[illegible]

[illegible]○

[illegible]

[illegible]

十六

[illegible]七日の[illegible]三日の[illegible]泉殿の[illegible]改[illegible]

[illegible]

百代集　弟保三年四月皇女の九夜に　後二条関白内大臣

後拾遺

○狭衣四上　三十五ウ　九日の[illegible]

[illegible]○源　宿木　中君の[illegible]三日

五日七日九日[illegible]○花鳥引李部王

記天暦四年七月七日是夕藤女御有産養車産

婦饌衛重十六合破子食七荷毛食八具碁十銭
二万贈物児衣襁褓各五重支佐木菖二合（有白絹裏）
使大蔵兼藤原守忠傳言云雖鄙陋今宮所贈益
可有意報云恩問倫至恐喜兼深況兼宮恩命怖
恐無極即纒頭白細長一重袴一具守忠令遁出
門追傳報賜禄○枕冊子（十四段）

○

小馬命婦集

遁

抄遺雑下

後撰離別

抄遺恋草上

大和物語

古帖

○無名抄　七十三条○

源　須ヤ　之ヤ　西国の

くきこえ
なり ○同 蓬生 [illegible]

[illegible] ○狭衣二 上十一

[illegible] 羨無

源宿木 [illegible]

[illegible] 玉小櫛 [illegible]
人の [illegible]
[illegible] ○源 紅葉賀

七言

[illegible] ナリ ハアウケナクナトノナクト同シ即ウシロメタシナリ

○狭衣一ノ下 十五 [illegible]

堀百 春雨 國信 [illegible]

○今昔十九 五条 然レハ後メタナク思フ了无限

○同 同 父母ノ明暮後メタナキ者ニ宣セシカ

○同廿二 七 極テ後目タ无シ ○同廿八 八

林葉五 借他名遂亟 [illegible]

和泉式部集 [illegible]

○顕昭拾遺抄注云ウシロメタナニトハ世俗ノ詞ニハウシロメタナシトヲ哥ニハウシ

ロメタトヨメリ

萬葉集

○

源 松風

憂くふ

樹 ニハイタウ。カラカリ玉フ。

八言

源 絵

○ 花をたてまつるの名

上ゐて盤をとり

九言

思後日記馬、るの浦のほとりにのけるとして○

十一言

新古雑下 西行

円円 蓋円

五言ノ条八入ヘシ　馬ノタテカミ

○

栄元　月宴　五十五

えの部　二言

えい

威衰記六此程風気有テ不入見参ト云ヘ曳ト
テ出合レズ○同同鬼モ角モ相計ハレンニコ
ソ奉隨ラメト曳去ハトク還リ行テ此由ヲ申
ヘシト宣ヘハ○

えせ集　十二

えせうた　枕冊子
えせうた　長名無名下　枕冊子　十三　阪

えせ[illegible]　同上
えせをとこ　枕冊子
えせこと
えせもの　魚　器物　俗冒
えせさかな
えせ受領

○同　同

えに　縁字音轉訓

後撰恋四　ふるあまの[illegible]

江に
[illegible]

六帖　[illegible]

伊勢物語

後撰恋四　貞元の[illegible]

逸　土左

伊勢物

六帖五　[illegible]

十二

菓のえん

花の宴

後撰春下　寛平御時橘の花の宴[illegible]に　○　澁觴抄云花宴　嵯峨三年壬辰　弘仁三　始有花宴文　○逸史引類史　弘仁三年二月辛丑　幸神泉苑覧花樹命文人賦詩賜綿百差花宴之節始於此矣　○扶遠賀　天徳三年内裏に花宴せさせ[illegible]　○源花の宴

梅花宴　異本能宣集

菊花宴　紀略一延喜十一年十月廿四日
○掃部式十七才九月九日

前栽宴　拾遺賀
○源野分　清原のつほねさいのえんもとをはめんう
△河原保三年八月内裏有――○元浦集つ
ほねさいの宴きさきのふにくまくまして○清正集内
に十月十四日ゐつほねさいのきくけえん。

月宴

残菊宴　文粹二ノ四世号――○濫觴抄　残菊宴　村上
六年辛亥天暦五　九月始有之

めぐりあの清之人　四季詠　三月

萩宴　源氏横笛

鈴虫宴　源氏鈴虫

蓮葉之宴　続紀廿三仁光　室亀六年八月癸酉始設――
○類史三十二　帝王　延暦十二年八月癸
丑　翫蓮葉宴飲

芳宣花宴　仁明紀

菖蒲宴　新勅撰寛喜元年女御入内屏風五月沼江菖蒲宴所　花園白

藤花宴　紀略延喜三年三月廿日於飛香舎有〻〻
○須氏宿木

九月尽宴　紀略延喜二年九月廿八日於御殿有〻〻〻

三月尽宴　紀略二延長六年三月廿九日壬子御幸常寧殿有三月尽曲宴

七夕宴　紀略五冷泉院安和二年如月七日九大臣於白河家有〻〻〻

五十日之宴　紀略九天元三年六月一日壬申一条院之誕生七月廿日於清涼殿有五十日之宴

密宴　紀略九長元四年三月三日禁園有〻〻
○同同七年八月十六日〻〻〻

遊宴　類史卅二帝王部十二天皇遊宴

櫻宴　須花宴きさらきのうるはしき菊殿の樹のえん

[illegible]

枕冊子十七段 [illegible]

[illegible] 又[illegible]て笑ヵチの君ノ○

元つ[illegible]

和名　○今昔廿八七 サヽラ ヲ突キ机ヲ差テ様々ノ田樂ヲ二ツ物三ツ物ニ儲テ○

元[illegible]

咸裏記九硫黄嶋ニ[illegible]ノ渡ケル中暑嶋ノ者共中

夷三郎殿
夷社

ケルハ此御棲ヨリ五十余町ヲ去テ一ノ離山アリ峯高ク谷深シ其名ヲ鶯岳ト云彼岳ニハ夷三郎殿ト中神ヲ奉祝岩殿ト名付タリ○東鑑四十三十四鶴岳上下宮為正殿遷宮也今度始而於西門服所被勧請三郎大明神也○同四十四八夷社

元[illegible]箙

今昔廿九廿三夫ハ竹蠶簿箭十許差タルヲ搖負テ○蠶簿ハ和名抄ニミエテ蜜具也ソレヲ箙

ノ假字ニカリタル也○

えゑ

和名抄蠶絲具　蠶簿兼名苑云簿音薄和名衣比良

名笛曲音養蠶器施於其上令作蛋者也

文木九山家長月　後れ初に　山ざとい出やのえひらに沈月のけぶりも眉のとみいとえ

新六くさ　知家

ゆきてみるさやのえひらに出るつきのかたぶくまでいとゝ

○

えゝとん衣紋

続世継　花のあるじ　花園左大臣有仁

いとのたれとも

いとのたれとも

いとのたれとも

四言

連枝

栄花浅縁

都土産

○源野分

○同野分

草

艶ラス 今音

保憲女集

万十八

木居云工八浅

キ意十り

えひの、

エヒカウ

花鳥引香字抄云採拇檀樹葉皮春蒔爲香故云葉皮（エヒ）又裏衣香俗云衣比（エヒ）利王家万葉衣香あ
る是をえひの香と云乃一云薫衣香の一名一云と
云草の名方一説衣被の香と○未つゝ　えひのゝいと
なつゝう○初子　えひゝの香のまつゝいとえん○

えんなゝ　道

枕冊子

○中務内侍日記えん
ゝに所をとりてとまりて来たる

五言

えゝのゝとも　要物。　紀

宇川保あて宮
宮ゝ
ゝ
ゝ

今云カモジ

神代紀伊弉諾尊投黒髮此即化成蒲萄○源初音

清ラ流レ　いくさ　ものの　色に　やさしき　ふるまひ

夷歌

さよの　ねさめ　日本紀百姓ノ業ヲ捨テ世ヲ

○伊勢物語　やそうぢ　ひとめ　みぐるい　きん

○源　東屋　東國人

夫木廿一　新六　為家

わくらいの　ものの　ねのこゑ　ふけ　ふかし

源　絵合　ものいひて　ものとこそ　ものふ○

六言

今昔廿七　廿五　ヒタト抱付テ音ヲ高ク挙テ泻タリオウト云テ服ト思シキ所ヲカノ櫛ロマテ突立ツ○

エヒス衣ノスカタ
エヒススカタ
アラエヒス

えびしたろう

小嶋口号　殿上の清遊をよいあてゝ[illegible]えび

[illegible]衣ノ[illegible]の○同　朝衣の人い明てえびをまるを

とゝやのそゝしとゝ[illegible]　○同　大納言今出川実村

中ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

二言条ニ入ベシ

ウミノオキナ
老ヒヒ

蝦 エビ

夫木十七 仲正

○

語林類葉巻之四

おの部

二言

清水濱臣輯

おす

夫木六 恵子

おち

古今 僧正

後拾遺 法師

和泉式部

おと　声ヲ　オトトイヘル

万葉五

後拾遺　源重之

月詣　七月　藤原為忠

円融　源師之

百代春下　中務親王　具平

百代秋上　延喜御製

千載　源雅光

千雑中　法性寺入道

後葉集　藤倉左大臣

後撰遺二　橘為仲

○

十二

菓を拾ふ

大和物語　年月をへて人のまゝに生ひたい

○源氏若紫　若紫を人々あそびまもる

後撰遺一　読人不知

本かしの葉の下風人乃なさいはひたに

○濱松三 [illegible]
[illegible]に○源 桐壷

おも 乳母

源氏四 なく〳〵十七八[illegible]姫のいとまかけもおし
[illegible]○和名抄 ○曾丹集長哥 おもと
一のちふさのもとゝ

山家集 [illegible]下女をおもとゝ[illegible]
いちちゝとゝいめとゝれのおもとゝ西行
夫木世五女

万十二
[illegible]

○

三言

おもて 瘡

源 若菜 [illegible]○中務内侍日記 [illegible]
[illegible]○大鏡序 [illegible]
[illegible]

おもて 扇ノソチ

宗菊 衣珠 [illegible]

たり。

おとゝ殿。大臣。侍女

宮内保 とゝけ おとゝの上のつゝみもて。源 朝臣 おとゝ

おとゝと わゝきものしるし。 コヽハ源内侍カ老タルヲイヘル ニテ 祖母 侍女ノ意ナリ

○ 玉、うつくしにおとゝとあるハ夫戒の妻もて玉のつゝを

ほゝとゝ名のをきゝたにつゝと 乳母 泣とゝ ○ 狹衣

一 上 四十五 車さゝをゝに年とゝ 乳母 おとゝの

しゝうあるゝ たり。 ○ 同 一 下 おとゝ とて 乳母ヲイヘリ ○

おとれ 老成人

袖中ニ引或物語

紀四のゝ ゝに男ゝ ふあまけ ゝの ゝれゝ

○ 長受領 オトナ 今昔廿八 十 ○

おとゝ弟 弟子

宮内保 菓宴 かゝて 后の宮の 四月 七日 ゝ

ゝて ゝ ○ 同 蔵本 ゝ 下 大將 ゝ 廿七

日 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

け。

中ノ子十部

きゝきのゝ十部

おのき 人ゝて ゝ

竹取 天人羽を[illegible]

[illegible]

長明集

[illegible]

○栄花[illegible]

[illegible]

得テ着ヨ已トイヘハ ○今昔廿七 四十一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おうち

中務内侍日記 [illegible] 起

[illegible]

おこじま

源朝臣 [illegible]

[illegible] 万水 [illegible] ○源松四 [illegible]

[illegible]

御 ホン 御ハスヘテ哥詩ニカキラスヨロツノ所作ニモイフセモトハ天皇ノ御身ノウヘニノミカケルヿナルヲ中昔ヨリ轉

シテ高貴ノカタ〳〵ニオヨボシイヘリ

源 梅枝 おなじの源もの コレハ御薫物ノ ○同 さいのゝ(の)源もの 同上

○同 花宴 源氏の春の源をい 源侍 ○同 少女 おなじの源をいさゝ 源の侍ノ ○字治保 そなた 野山もさもてもの源をいつゝ ○コレハ後落女ノ子ウムヘキ所ノ姫カイ詞ニテ御産ノ事ハトニナリ

○若菊 若枝 もんのいゝ ゝの源のうんと

とてさわゝに コレハ同輩ニテイヒアフナリ ○斎宮女御集

○大和物語 おれもうちは源分ノ ○

おまへ 御前 ○人ニムカヒテサシテイフ例

濱松一 河陽縣居 源るの之の源るに もゝくの源る

河に おまへのいとゝ ゝの源の源に おもいまた

に ○

おもや 母屋

竹取 おもやのうちよりは さんなもとうに いまこの源に

○

おもや 御山 壬二 ゝゝの源のおもや

人の ゝゝ

ゝゝの源

位夏の ゝゝ

○万代亥四　みの国なかの人のもとへ

[illegible]

実方朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

実方集

続後撰　鎌倉右大臣

[illegible]

散木集

[illegible]

後葉別　[illegible]　三親王

[illegible]

○

[illegible]

中務内侍日記　[illegible]

[illegible]

[illegible]

○著聞五月をも[illegible]

下名（オリナ）

江次第四　下名（オリ）言様アリ　○紀畧寛弘元　廿五

下名除目ノ翌日之○同寛弘五ニ廿九下名同上○万
寿三年十月廿六日除目終即有下名事○江次
第一叙位下名扶云書叙人姓名下賜二省亟故
曰下名是白馬節會日叙列二省亟以此下名引
四位以下也三位以上不書下名故二省不引○
思俗日記[illegible]

今俗人[illegible]

源女[illegible]○同同[illegible]

○[illegible]○同[illegible]

四言

[illegible]

ヲイリ〜乎部

讃岐日記上[illegible]○今昔
世九夷母オイノ〜ト呼ヘト男答ヘモ不為メ○
落窪

[illegible]

おいらう

竹取物語おいらうにあらうらうそなれあるさをとゝいのう

[illegible]

泡胡蝶 河海

おいらうにいはをいうて是れのろうきうらうのしのうあらうやれうと

○松造頼光ゆにて同○本居云俗言尋常ニ腰ヲ

キルナトノフ尋常ニ近ク

おさぐら

宗花[illegible]おさぐらにせきをるうち○円法蔵

白うるさうらの[illegible]おさぐらうち○円法蔵着おさぐらてんと

○円初花三十六ウ○字円保蔵おさぐら[illegible]のおさぐらの衣装

に

おきぶみ 未来記ナリ

難太子記上義家ノ御置文ニ云我七代ノ孫ニ

我生変テ天下ヲ取ヘシ○

おくづき 奥書

十六夜日記冊子[illegible]のおくづきとして○

おさのぶ 動。假字於送 証アリ

栄元 根合 重之百首 墨木

印本家集ニ

おさたま 癒

枕十七 男ふ人の中畧

月詣集正上 女のもとに

栄元 音乐

に。枕草子

ぶ

濱松三 毋方

酒 桐壺

〇

ちぢ髪 落髪

拾遺 恋一 平之

ちぢ之集

新六 髪 為家

ちぢみのとこに物のうるさきもの

ちぢ〳〵 俗語 ちぢのきこゝにるを 集口とろ之

拾遺 物名 くちのそこいろのちぢき

ちぢの山井 木のこの物ちぢ色のもとさて 詞 [illegible]

ちぢつき 無

〇

ちぢつき 落着

新六 うはや 光後

東路のうまのちぢつきに人もとゞまぬ君ワ[illegible]

〇 浜松二 若君ぐ〳〵 なりて里なりてはきれ[illegible]

〇 うたゝ〇 ちぢつき 所のさまをうれい 〇 小嶋口号中

納云のちぢつきゝ[illegible]

山ゆ[illegible]ちぢつきぬ〇[illegible]

おげ〳〵 恐々

小嶋口号 いなみこてあり　こを墨とつけ行
○遊糸日記 [illegible]
[illegible]

おげ、ろ
宇治拾遺一 平をけの条
○古事談 僧行渡守ヲミレハ首オワカミトヨ
程ニオヒタル法師之ヨ ○義経記 法師ち
[illegible]
○今物語十七 法師の[illegible]

いなつろみ　おなじ

おとき、ご
清性公集
[illegible]
○

おとゝい 弟ちひめ、○兄弟姉妹
今物語 待賢門院の堀川上西門院の兵衛ノ
[illegible]○万 弟日
拾遺可考○

○顕宗紀　○假字

おとしたま　塾居

菜花　みてぬ夢　有國をつさ位をとをたくおしこ

さきをひくしたる○

おとしたま

源氏

オヒサキ

拭遊負外

源手習尼

○

松ほ、さ、

和名抄　○字鏡

○後撰恋六　さきの陸てさでもりて雨のふるにお

ほさをおひさきけまハ　○歳令

おほ鐘

菜花　後悔大將　清堂にてめるをつまあをるをつて

中の巻　○　和名抄　洪鐘　俗云於保加祢

おほそら

ナホサリトイウニ近シ

源少女　おほそらのつゆ　○

同岡屋　おほそらにて　○同　玉うら　おほそらの

いとも　おいらめて　○同　柏木　十二　○同　東屋　六十二　○同

十五　○同　首雲　三十九　○宇治保　義系男　大空にて　皆をとは

しらぬ　○同　春日詣　とも　大概若おほそらに

○実方集　十三

いい　○紫日記

うけふ日記　おほそらにて　○実方集　十三

おほそらて　大袖

中務日記　清大そらての清袍とは　○

おほめく　於遠亦一　いてかと思ふ　ふるのあとよ　おほめくそらの

○

おほろけ

栄花　浦々別　おろかなる　の多　ふるのあとよ　いてそんこと

うろ　○

御方（ナンカタ）

源 松風 あかしのうらを此の月ながめて

おもしろ 母をしたしていう

宇川保 春日指 うれ世もうらもの○曾丹集

おもしろぬ葉（十二）

深草院 はるのうらをうつしてかすみのうらなみ

○小侍従集おもしろぬ里○千雑中おもしろぬ袋

おもしろぬ心

おもしろぬ里

おもしろぬ袋

おもしろ

後拾遺のまきに猶多し古今集渡の方

はるのうらに夜れくつるの思ひものおもしろいこゝろふやうに

○

おやぢ 親様

隆信集哀傷 うきたいこひとよ 月をのこしおやぢは

にしのうらに 祖母に ○源 後合 うけしうらにおやぢ二方よ

きこしめしたり ○前雲 もけのおやぢ 月をのこしてはかり

ありしかはこそ ○

身ニヒミテ物ヲスルヲニイヘリ

○涙松

○同少女人の

源後今

○オロカ　ロト同之

千載春上中院

新六

夫木梅

○頼政集宝莊嚴院

静賢

御家様（オイヘヤウ）

蹇驢斷餘云世尊寺清水谷ハ能書ノ家也是ヲ家様トゝ云也旧院様ヨリ後円融院家様ヲアソハシ改テ勅筆カクヲイカニモ風流ニアソハシ出シ諸家ニ学ヒトアリ

[illegible] 翁言 河海

源 [illegible] ○

[illegible] 今後也

[illegible]

源 関屋 [illegible] ○

[illegible]

栄花 衣珠 [illegible] ○ちさゝゝの紙ト

○源 東屋 [illegible] 鈍人○

同 同 [illegible] ○同 浮舟 [illegible]

[illegible] ○同 [illegible] 例の [illegible]

[illegible] ○

中務日記

子ヨツヽメルムツキナドカ

金葉雜下

月宴 五十七

推凝

源 夢浮橋

源 蓬生 北の方

源 玉鬘

夫木世六 俊成

散木集 恨身恥運

捨置

可考

源 夢浮橋

○同

○同

落胤

遊糸日記

○

栄花 楚王夢

夫婦の事をふぐ

後撰 恋五

○伊物

知顕抄ニアフナノヽトハ名ノアヒアフ云ヘ

伊物

○源 竹川

念ひ

○源 宿木

年経

○朗詠 菅絃 隨分 菅絃還 自足等

用篇詠被人知○源少女太大和氏弱ひてそなたの物ふ
[illegible]と○三部抄言釋下十四ウ

[illegible]
栄花 浦々列
[illegible]

○宝物集

[illegible]
栄花 きさいの女房 [illegible]例のあて
[illegible]

てまつる焉よのつてもとれをつくりてやとふ[illegible]
[illegible]御禊ノ行列○讃岐日記十二月朔日[illegible]
[illegible]大[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]

[illegible]大敷
栄花 そのほい かくの[illegible]
[illegible]

大卿堂

中務内侍日記　大弐堂の[illegible]に○源親行関

東記行云　大弐堂〳〵きこゆ〳〵○

生次

源　女

面隠

万代冬　定頼

紅葉のちりつもりてこそ[illegible]

自撰哥の忘て面目なきかのこと

長明無名抄上　[illegible]と思ふ○同上

○同下　二オ

面々○後信メシソートイフ意ノ

清慎公集

頼実集

六帖　松

長明無名抄

○

於遠負外

コレハリンタウトタシ

カニナシテヨメリ

思死

大和物語

○

月詣集 十月 定綱法師

金葉秋 親房

小侍從集

おやのおもひ
後拾遺哀 後京極摂政朝臣
いつくしみのおもひやるかたもなきものかな
拾遺雑下 おとこの女
おもひのおもひやとゞまりぬるいとのいとゞ

○中務内侍日記 言四のおとゝにおやのおもひやるこんの
（まゝはゝのこと）○

おもひ
後撰恋四 忠房
おもひ名のみたつとはなにをかはまことにあるべきとかは
拾遺恋二

○

六言

おいゝ
老々
栄花 月宴 世二
うらやましくもあるかな○宮内卿殿 ○
いとしきものはおとなにあるとこそ

をのつまこと
二帖 をんな
ちりつもるはとしのこと

○菅家文草

源関屋

保憲女集

怠状○やはり微文之

長明無名抄上

○紀略二延長八年三月二日渤海存問使裴璆進怠状○梅窓筆記載　傳宣章　宣旨返給怠状於外記状権右中弁光継朝臣進怠状事仰宣徴將来返賜右宣旨可被下知之状如件文保二年十月六日春宮太夫判○宇治拾遺

逢信集賀　又位下ノ記

[illegible]

後拾遺四　和泉式部

[illegible]

○新撰和哥集　[illegible]

夫木世六　俊成

[illegible]　下同

○源　東屋　[illegible]

[illegible]

夫木　西行

石[illegible]

○

おちくぼの巻　春画○今俗まろくぼとゝ云

著同上佐画図　つまきよりのこきていおちくぼの後

[illegible]

いてゝ実ないさいはまりあるのまゝの寸法なる事

[illegible]

[illegible]

おちくぼ衣

後撰

○落書露顕序　落葉の衣いとあるとゝ[illegible]

[illegible]　繋をい

[illegible]

[illegible]

栄花 音ふ[illegible]

[illegible] ○同 同 [illegible] ○

[illegible]

長明無名抄下 [illegible]

[illegible]

[illegible]

栄花 [illegible] ○

[illegible]

竹取 [illegible] ○源 初音 [illegible]

[illegible] ○

[illegible]

玉小櫛 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おきてしれ

仲文集 後撰春下

○源蓬生

おきてゆきに[illegible]

おくものやと

中務内侍日記 二位入道の[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

年のもとの
年のうちも
松のおもと
家のおもと
山のもとの
[illegible]
月のもと

古今

何をして[illegible]

六帖

[illegible]

同

[illegible]

万代冬 八条院 言金

[illegible]

林葉五

[illegible]

松迷思草上

[illegible]

惠集

[illegible]

夫木十八 嵐吾

源頼[illegible]

[illegible]

[illegible]

○大和同

○古意可考

七言

[illegible]

散木
万代雜三

[illegible]

夫木世三

○

[illegible]

宗花 楚王夢 かくれに人の[illegible]

[illegible]

○

[illegible]

宗花 月宴 [illegible]

○

[illegible]

長明無名下 [illegible]

[illegible]

○[illegible] 赤面

栄花 衣珠 [illegible]

○[illegible]

後撰 忘三

[illegible]

千秋上 後拾

[illegible]

紫集

[illegible]

○須 [illegible]

菅万

○[illegible]

○涙 松四 [illegible]

○[illegible]

八言

[illegible] 自然之事

続世継 [illegible]

○[illegible]

後撰雑二

一まつにうゑをきてとしをへぬるこの山のうちにいくよふるらん

金葉巡下

かゝる時心のやみとなりぬるまよひにいかゝ思ふこゝろあり

○伊勢集 同 ○六帖 初句 おもかれしの

万代春下 雪式部製

世のあはれ人のこゝろはあるかとなかるゝ雪のとけぬるかな

同巡一

おもかれしの山はしたもとけぬるに花ぞ思ふ春のあはれ

小馬命婦集

あるかなきかとゝはぬ人のこゝろにはかなきものの思ひなりけり

六帖

年ふるのさの影ゆるかぬ人のこゝろにはいとゝ思ひ

○遊糸日記

九言

おくゝ

源少女

おくゝ

○

おくゝ

眼病気のつ

おくゝ

おくゝ

栄花

光帝の御時おのやけ

おくゝ

おくゝ

おくゝ

十二言

海老ヶ瀬ヶ崎

○同月宴 四十四才　○同若枝 十一　○初花 四十三ウ

常光 かんく 四才

○桃草子

為忠後百 歌侯

久安百首 小大進

○